

☞ 夏の音楽祭について、ユーチューブで紹介しています。



那須塩原・リンツ

街中で音楽が響く



ドナウインゼルフЕСТ
© Alexander Müller

オーストリアの暖かい季節には、無料で音楽が楽しめる機会がたくさんあります。最も有名なのは、首都ウィーンの「ドナウインゼルフЕСТ」という野外音楽フェスティバルやウィーン・フィルハーモニー管弦楽団がシェーンブルン宮殿で行うクラシック音楽の「夏の夜のコンサート」です。リンツ市にも、6月上旬～8月中旬の水曜日

から日曜日に行う「音楽パヴィリオン」や国際ブルックナー音楽祭で開催される「リンツァー・クラングヴォルケ」などのコンサートがあります。街の中心で行う「プフラスター・シュペクターケル」という祭りでは、旧市街のいたるところで音楽やさまざまな大道芸にふれることができます。

公共の場で音楽の「つながる」力を特に感じられるのは、2016年から始まった「Open Piano for

Refugees」(難民のためのオープンピアノ)です。オーストリア人のニコ・シュヴェンディンガーさんとウド・フェリツェターさんが2015年にウクライナを訪れた時に見たストリートピアノから影響を受けて始めました。この難民のためのオープンピアノは、ヨーロッパのあらゆる街にピアノを提供しており、だれでも自由に弾くことができます。その時に、募金箱を置き、いただいたお金を使って、難民など音楽のレッスン料が払えない人のために、音楽の授業を行います。公共の場で音楽を楽しむだけではなく、最も必要である人に音楽の力を届ける魅力的な取り組みです。

今後、那須塩原市も、ピアノの力を借りて姉妹都市リンツ市とつなぐ事業を予定しています。



Open Piano for Refugees
© Nico Schwendinger

今後、那須塩原市も、ピアノの力を借りて姉妹都市リンツ市とつなぐ事業を予定しています。



ボク | SDGs コーナー : BOKU大学×日本



日本大使(左)、BOKU 大学総長(中)、© BOKU Medienstelle / Christoph Gruber

オーストリアの BOKU 大学 (Universität für Bodenkultur Wien、ウィーン天然資源及び応用生命科学大学) は、自然災害や化学など、幅広い分野で日本と交流しています。協定大学である京都大学農学部とは 30 年前から、その他、京都府立大学や信州大学とも協力しています。信州大学は BOKU 大学と同じように、生命科学、持続可能や再生可能資源の研究に力を入れており、大学間の学生派遣プログラムなどを行っています。他にも、10年にわたり東京大学と神戸大学と協力した研究などを行っています。その研究では、両国の地方の話題や持続可能な発展の違いを比べています。両国は経済の歴史や地理的に似ているところや SDGs に取り組んでいることなどの共通点が多く、有望な交流です。BOKU 大学は日本との関係をさらに深めたいと期待しているようです。



☞ 2022年4月14日に行われた「BOKU 大学と日本 - 過去と未来における協力関係」の講演会(英語)はこちらから確認できます。

那須塩原・リンツ

Advantage Austria- オーストリア大使館商務部のホームページで活動の紹介を見ることができます。



あの人：インゴマー・ローシュミットさん



プロフィール

名字：ローシュミット

名前：インゴマー

出身：グロスペルトルツ (オーストリア)

居所：東京

職業：Advantage Austria (在日オーストリア大使館商務部) 商務参事官

モットー：「何をするにも、人に対してではなく、主にに対してするように、心から働きなさい。」(聖書、コロサイ人への手紙 3:23)

「友好を進めるために、新しい経済事業を促進したいと思います。」

大使館商務部の仕事：

Advantage Austria - オーストリア大使館商務部はオーストリアの公式な TPO (Trade Promotion Organization・貿易促進機関) です。世界中、約 100 か所の事務所を開設しており、オーストリアの企業の海外のビジネスを支援しております。日本では、オーストリアの企業の約 1000 社を担当して、市場参入、マーケティング、商品やサービスの調達やメディア対応活動の個別相談を行い、双方のテクノロジーの仲介、フェアや博覧会などを行っております。自分自身は、1980 年代からアジア、ヨーロッパや南米など様々な任地で勤めましたが、6 年前から、東京の事務所長を務めております。



ローシュミットさんと渡辺市長 (2022年3月)

那須塩原市との交流：

日本に来てすぐ後に那須塩原市のことを気に留めていました。(那須塩原市の) 姉妹都市のオーストリア・リンツ市は、私にとって第 2 の故郷のようなものです。すぐ近くで育ちました。また、青木外務大臣のオーストリア人の玄孫 (やしご: 孫の孫) とは、友好関係にあり、さらに那須塩原市に興味を持つようになりました。素敵な風景だけではなく、何よりも市民のオープンで優しい人柄に感動しました。2019 年、私がオーストリアのパラ水泳選手のアンドレアス・オネア選手を Advantage Austria

のイベントのため日本に呼んだ時、彼が水泳の練習場所を探していたところ、那須塩原市が早々に手をあげて、オーストリアのトップ選手のオネアさんを受け入れてくれました。そのことによって、オネア選手と若い世代をはじめ、那須塩原市のたくさんの人との深い友好が始まりました。



オーストリアのファン・デア・ベレン大統領 (中心)、ローシュミット氏 (右)、オネア選手 (右から 2 番目) とオーストリアの選手

「これから」について：

経済の繁栄は、住民全員の幸福の大切な基礎であると、オーストリアではよく言われます。私たちは、那須塩原市・リンツ市及び日本・オーストリアの間の友好を進めるために、新しい経済事業を促進したいと思います。オーストリアは世界で、レッドブルやスワロフスキーなどのブランドだけではなく、ハイテク産業、環境テクノロジー、エネルギーの持続的な利用、観光学校、地方の発展の支援などで知られています。その分野では、私たちの協力事業が益々増えています。

那須塩原・リンツ

パネル展(市ホームページ)



生き生きとした交流



フィツェ主席公使

2022年4月9日(土)

青木周蔵パネル展の開会式

2022年4月9日～5月8日に旧青木家那須別邸で行われた「青木周蔵パネル展」が閉幕しました。当パネル展は、「日独修好160周年」の記念事業として実施されました。開催期間中に1727人が来場しました。

4月9日の開会式では、在日ドイツ連邦共和国大使館フィツェ主席公使に挨拶をいただきました。青木周蔵は両国の友好関係の開拓者であるため、パネル展で紹介されることを喜んでいました。他には、那須塩原市長とサルム＝ライファーシャイト氏の挨拶もいただきました。青木周蔵が創設した青木小学校児童による鼓笛隊とバイオリニスト江刺由梨氏の演奏により、とても華やかな開会式となりました。



パネル展



青木小学校児童



バイオリン演奏

ニクラス・サルム＝ライファーシャイト氏の訪問



シュタイレック城にある青木家コレクションの資料を借出し、「青木周蔵パネル展」を主催したサルム＝ライファーシャイト氏が久しぶりに那須塩原市を訪れました。開会式の他に、那須塩原市長や青木小学校を訪問しました。2005年にサルム＝ライファーシャイト氏の来日で始まった中学生交流事業の関係者や市国際交流協会の代表者と交流会を実施して、「これまで」と「これから」の話をしました。

ニクラス・サルム氏との出会いは、3年前の青木小学校との交流会、オーストリア・フェスタと今回で3回目です。先祖である青木周蔵を心から尊敬し、青木周蔵が愛し育てた、ふるさと日本、そして、那須塩原に親しみを感じてくれているのを凄く感じました。

ありがとうニクラス・サルムさん。(市国際交流協会理事長)



那須塩原市国際交流協会との交流会

中止

イベント案内 ☆ 夏祭りでオーストリアブース

夏祭りでオーストリアブースを出展します

- ◆期間：2022年8月27日(土) ◆時間：11:00～19:00
- ◆場所：西那須野駅前 ◆対象：どなたでも
- ◆主催：西那須野商工会

オーストリア商品ブースでオーストリアの味オーストリアの観光と交流活動についても紹介します。

オーストリア商品は Advantage Austria が紹介しました。



※写真はイメージです。

那須塩原・リンツ

作ってみましょう ☆ ハーブのレモネード

オーストリアでは、アルプスのハーブを使ったレモネードなど、炭酸入りの飲み物が人気です。それをイメージして作ってみました。

材料 (2人分) : りんごジュース 300ml、生のハーブ (ミント 2枚/約3g、レモンバーム 2枚/約3g、タイム 2枚/約2g)、生姜 (約1cm)、炭酸水 150ml、レモン 1/4個

手順 : (1) ハーブを洗い、水を切ります。まな板において、麺棒で少し平らにします。(2) りんごジュース、ハーブと皮を剥いた生姜を鍋に入れて、中火で煮立っています。(3) 鍋を火からおろし、冷ましてから冷蔵庫で約12時間待ちます。(4) 冷蔵庫から出して、ザルでこします。ジュースと炭酸水を2:1の割合で混ぜて飲みます。



ハーブの量や種類を調整しても良い!

Q: オーストリアの民族音楽で使われていない楽器はどれですか。

A: 口琴 (こうきん)



B: ツィター



C: ハーモニカ



D: バーンスリー



答えは下

文化コーナー：水泳のワッペン



水泳のワッペン、左から1~4のレベル

皆さんは、水泳のワッペンをもらったことはありますか。オーストリアでは水泳を学ぶ時に、試験を受けて「水泳ワッペン」をもらうことができます。左に載せた4つのレベルのワッペンがあります。1や2番

目のレベルは、小学校の体育の授業で練習してから、受ける人が多いです。それぞれに受験者の年齢制限と必要なスキルがあります。そのスキルは例えば、「15分間休憩なしで泳ぐこと」「腕を使わないで50mを背泳ぎすること」「水泳の10個の規則を知ること」などです。試験に合格したら、ピンバッジと布のワッペンをもらって、自分の水着につけます。オーストリア全国で同じワッペンが使われています。担当しているのは「オーストリア水難救助業共同体」です。一人一人の上達と安全性の向上が目的です。オーストリアには海はありませんが、湖がたくさんあって、夏には泳ぎに行く人が多いです。13歳以上の方は、「ライフガードのワッペン」にもチャレンジできます。ライフガードは5つのレベル (ライフガード3つのレベルと水泳の先生は2つのレベル) があります。

発行：那須塩原市企画部市民協働推進課 (担当：フロレンティーネ・ロンニガー)

事務局：〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社108-2 TEL: 0287-62-7019

FAX: 0287-62-7220 Eメール: kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp

バックナンバー・ドイツ語・英語編:

<https://www.city.nasushiobara.lg.jp/soshikikarasagasu/>

[shiminkyodosuishinka/shiminsankaku/kokusaikouryuu/3/4240.html](https://www.city.nasushiobara.lg.jp/shiminkyodosuishinka/shiminsankaku/kokusaikouryuu/3/4240.html)



検索 那須塩原市海外姉妹都市ニュースレター

い手器
源のよくとけい(いよん
ー。D: 景のメロク